

別表3 第1号様式別紙1

神奈川県既存住宅省エネ改修事業費補助金事業計画書

登記事項証明書（建物の所在）のとおりに記載すること。

1 補助事業の概要

補助対象住宅の地番	横浜市中区〇〇字〇〇123-3-1		
補助対象住宅の住居表示	横浜市中区〇〇町123-45		
事業着手予定日	年	月	
事業完了予定日※1	年	月	
改修工事の種別 (該当する□に「✓」を記載)	☒ 窓(玄関ドア等含む)※2 ☐ 壁 ☐ 天井 ☐ 床		
併用する国補助金の名称	先進的窓リノベ事業		

該当箇所に「✓」を記載すること。

※1 工事完了及び工事代金の支払いが完了する予定日を記載すること。

※2 必須工事

申請予定の補助事業名を記載すること。（複数の場合は全て記載）

2 補助事業に係る経費

補助の対象となる経費（税抜）（改修工事箇所の材料費と労務費を記載すること。）

改修工事箇所	材料費	労務費	合計
窓 (1)	709,000	50,000	759,000
壁 (2)			
天井 (3)			
床 (4)			
改修工事箇所ごとの金額を記載すること。		①改修工事箇所の合計額（税抜）	759,000

補助事業に関する経費

国補助金申請（予定）額が変更になると、申請額も変更になる場合があり、その場合、変更手続が必要になるので正確な額を記載するよう注意すること。

①補助対象経費 (改修工事箇所の合計額)	②補助 分の1を乗じた額 (千円未満切捨て)	③国補助金申請 (予定)額	※3
759,000	253,000	182,000	200,000

※3 ②+③<①の場合 ②で算出した額又は200,000円のうち、いずれか低い額

②+③>①の場合 (②+③)-①の差額分を②から控除した額又は200,000のうち、いずれか低い額

ここに記載した金額が交付申請額となる。

3 補助対象経費の明細

(1) 窓工事の材料費、労務費

■ 材料費

国補助金の交付申請額を記載すること。

No.	国補助金 製品(登録)型番	メーカー名 /製品名	数量 (a)	単価(円) (b)	金額(円) (a) × (b)	国補助金 申請額
1	AA1234WB	〇〇工業 /〇〇窓	1	359,000	359,000	68,000
2	AA5678BB	〇〇工業 /〇〇窓	1	175,000	175,000	68,000
3	AA32XX	〇〇工業 /〇〇窓	1	175,000	175,000	46,000
4						
5						
6						
7						
8						
材料費合計額					709,000	182,000

見積書、図面、写真にも共通の通し番号を振り、照らし合わせられるようにすること。

注 No. は図面、写真、積算に関する根拠（見積書等）に対応するよう付番すること。

■ 労務費

工事内容	金額(円)
窓施工費	50,000
労務費合計額	50,000

補助対象となる改修工事箇所に係る労務費を計上すること。

注 欄が不足する場合は、適宜追加すること。

注 金額は税抜き、値引き後の金額とすること。